

活動紹介 ~NPO法人フードバンク仙台とは~

食料支援

仙台市内の生活困窮の方に、無償で食料をお渡しします。食料は主に個人や企業からの寄付でまかなっているほか、農地運営で育てた野菜も活用しています。

生活相談

当団体の食料支援の利用者の方へ、生活が苦しくなった背景等の聞き取りを行い、必要に応じて生活保護の申請同行や福祉制度や支援団体の紹介を行っています。

農地運営

私たちの手で作った野菜を無償で配布しています。お金の有無に関わらず、栄養や質が担保された食にアクセスできることを目指しています。

調査・提言

日々の支援を行う中で見えてくる貧困の実態や相談の傾向を分析し、社会発信するとともに、必要とされる貧困対策の提言を行います。

移民支援

留学生など外国籍の方から多くの支援依頼が寄せられます。国籍によらず共生できる社会を目指して、移民向け食料支援会に食料提供しています。

2024年度は食料支援依頼人数が過去最高に
延べ7092人に支援

物価高騰の状況は、昨年に引き続き多くの方の生活を圧迫しており、その方たちのSOSが当団体に数多く寄せられています。2024年度の個人世帯向け食料支援数は延べ人数は7092人となり、2020年5月の立ち上げ以来、最多の人数となりました。のべ支援世帯は3164世帯、実人数は3298人、実世帯数は1422世帯にのぼりました。一人当たり約7キロ/回の食品を提供しており、食料支援重量は49トン644キロにもなります。支援依頼の増加のために食料の在庫が間に合わなくなり、昨年度の8キロ/回より少なくなっていました。また、昨年に引き続き、生活困窮者を支援する連携団体への食料提供も行い、延べ287回の支援を行い30トン139キロの食料を連携団体に提供しました。



支援方法		延べ		実数		食料支援量
1	直接支援 ※1回毎、1人7kg	3164世帯	7092人	1422世帯	3298人	49トン644kg
2	連携支援団体 ※困窮者支援団体へ提供した食料	延べ287回				30トン138kg
合計						79トン782kg

政府備蓄米は入ったが...米が足りない状況は変わらず

今年3月から、政府備蓄米がフードバンク団体にも配分されるようになり、フードバンク仙台にも8月までに計11トンが届きました。

しかしながら、食料支援の依頼が急増していることに加え、個人や企業からの米の寄付が大幅に減少しており、11トンではまったく足りない状況が続いています。もともとは1人あたり3キロのお米をお渡ししていましたが、7月時点では1人1キロにまで減らさざるを得なくなりました。現在、政府備蓄米の追加納入を再申請しており、秋以降の支援も政府備蓄米に頼らざるを得ない見通しです。もしご自宅や職場などで余剰のお米がありましたら、ぜひフードバンク仙台へのご寄付をご検討いただけますと幸いです。



政府備蓄米と米を配布用に小分けしている様子

食料の寄付のご協力をお願いいたします！

お米 (古米まで)	缶詰	レトルト食品
袋ラーメン	調味料	カレールウ

物価高騰が続き、食料品の寄付に比して食料支援が多い状況が続いています。1人でも多くの命を守るためにも、ご支援のほど何卒宜しくお願い致します！仙台各地に設置しているフードボックスや事務所に直接お持ちいただけると幸いです。

ありがとうメッセージ

経済的にお金がない、食べ物も無いです。水を飲みお腹を膨らませてました。お米や缶詰、甘味が給付されとても嬉しく思いました。仕事が出来ない苦しさ、病気の苦しさ、生きる事の意義を考えさせられます。食べる楽しさを下さり、有難うございます。

★酒類、手作り品は対象外
★常温保存可能なもの
★冷蔵、冷凍食品、期限切れの食品は対象外

農地運営プロジェクト

フードバンク仙台では、寄付された食べ物を生活にお困りの方へ提供するだけでなく、農地を運営し、自分たちで野菜をつくり、配布しています。お金の有無に関わらず、カロリーだけでなく栄養や質が担保された「食」にアクセスできる権利（Rights for foods）を実現するための取り組みです。農作業には、フードバンク仙台の利用者の方も参加しています。作業は、土日を含めて月に数回行っています。誰も飢えない社会を目指して、ボランティア自ら知恵を出し合って取り組んでいます！

今年もじゃがいもを収穫することができました！
留学生も活躍中！



農地活動の報告

わたしはフードバンク仙台というボランティア活動を高校2年生の夏から行っています。初めは、農地を借りて栽培することなど知らず右も左もわからない状態でしたが、共に活動をしているボランティアの方々にたくさん助けをもらいながら農作業初心者の方も活動が続けることができています。

今年の夏はとても暑く、梅雨の期間も短かったため、野菜に対する水分不足が問題となっていたことが活動を通して感じることができました。自分たちが育てた野菜が誰かの助けになっていると思うと、とてもやりがいがあります。フードバンクの知名度を上げるため、そして一人でも多くの人に支援が届くように私はこれからも活動を継続していこうと思います。高校生は勉強や部活で忙しいとは思いますが、週に1回でも良いので、支援を待っている人のために体を動かしてみませんか。ボランティアの参加を待っています！



じゃがいもを掘り返し、耕運機を動かしている高校生ボランティア 佐山さん。高校生活躍中！

2024年度 農地運営の報告 4種類の野菜 計2.4トン収穫

2023年度からスタートした農地運営も、今年で3年目を迎えました。2024年度は、じゃがいも・玉ねぎ・にんじん・大根を育て、計2.4トンも収穫することができました。

昨年度は、支援量に比して食料が慢性的足りない状況にあり、1人あたりの米や食料の配布重量を減らさざるを得ませんでした。そうした中、採れたての野菜を配布することができ、夏休みなどの長期休みの期間は給食がなくなる時期に、子育て世帯から大変喜ばれました。また、移民の方は宗教上食べられないものが多く、通常の寄付食品ではニーズに応えることができません。こうした状況の中で、野菜は彼ら/彼女らの食生活を支える基盤ともなりました。

2025年度は、じゃがいも・玉ねぎは既に収穫できており、これからにんじん・下仁田ねぎ・里芋・さつまいもが収穫予定です。また、カボチャとうもろこしも、ボランティアが挑戦的に育てています！食料危機が深まる中、地域のなかで自給的な営みを広げ、必要とする人に無償で届く仕組みをつくるのが、ますます重要になっています。私たちの農地は、ただ食料を生産するだけの場所ではなく、困窮者やボランティアが支え合うコミュニティでもあります。今年も、多くの方の力を借りながら、実りある活動を続けていきたいと思っています。



農業の知識があるボランティアから、育て方のコツを教わっています！参加しているボランティアはほとんど農業初心者ですが、活動を通して、農業について学んでいます。

食料支援を受けていた留学生らが、「次は自分が誰かの力になりたい！」という想いから、農地の活動に参加してくれました。支え合いのネットワーク拡大中！



農地活動ボランティア募集中！

活動メンバーのほとんどが農業初心者です！気軽にご参加ください！

使っていない農地・農機具や空き家、
空きスペースは
ありませんか？



フードバンク仙台の農地運営や活動場所(新事務所、地域食堂の運営など...)として活用するため、無料または低額で提供してもいいという方がいらっしゃいましたら、ぜひご連絡を！

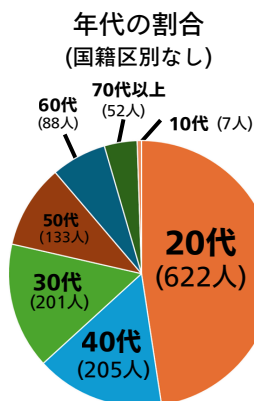
生活相談 相談現場から貧困をなくす

利用者の方に対して聞き取りにご協力いただき、生活が苦しくなった背景を明らかにし、生活保護などの制度の紹介や、制度利用のサポートを行なっています。支援の中で、行政の違法・不適切な対応、制度の根本的な矛盾が見えてくることもあります。相談員が生活保護申請に同行し、違法な運用を是正したり、政策提言などを行っています。2024年度は生活保護を受給していても、生活がままならないという相談が多数寄せられたため、生活保護受給していても最低限の生活を下回る事例について紹介をします。

2024年度に寄せられた相談

食料支援実人数 **1422** 人
初回利用世帯の割合:**43.2%**
外国籍世帯の割合:**41.5%**
日本人世帯のうち
非正規雇用の割合:**65.9%**
誰にも相談していない世帯の割合:**34.8%**

※件数はすべて実人数を使用しています。



支援レポート



フードバンク仙台では食料支援と同時に、生活の状況を聞き改善に繋げる「生活相談」を行っています。物価高騰の影響で、生活保護等の社会保障制度を使っても生活が苦しいという相談が非常に多い状況でした。2024年度において日本国籍世帯804世帯のうち、203世帯が生活保護世帯であり、割合で言うと25%にもなります。

60代娘と90代母親の生活保護世帯で、月15万程度が家計に入ってくるが生活が苦しいとの相談が寄せられました。母親が要介護3で介護が大変であり、寝る時間も少なく、娘も体調不良が続いていました。母の介護に関する費用で生活が厳しくなり、水光熱費を滞納せざるを得ませんでした。母親を入所施設へいれたいと考え、なんとか入所できる施設を見つけることができ、そのおかげで介護負担が減ることになりました。ですが、入所に関わる費用や定期的にかかる母親の衛生管理などの費用、施設でのイベント費用などで出費は変わりません。世帯としては一人になったため、保護費は減額となり、生活の厳しさは増すことになりました。娘も食事量を減らしており、米は高く買えない状態が続いています。二人で孤独死した時のために、遺書を毎日玄関の前に置いてから寝ることもあったそうです。

このように、生活保護制度が最低生活を守っておらず、「絶対的貧困」が拡大していることが伺えます。フードバンク仙台では、生活保護に関する相談を常時受け付けておりますので、お気軽にご連絡ください。

ボランティア活動の日常 フードバンク仙台の1日



10:00



パッケージした食料を各家庭に個別配送しています。ボランティアのドライバーさんが大活躍です!



12:00-13:00



毎活動日、たくさんの方から食料の寄付をいただいています。賞味期限を切らさないように、時期ごとに区分して仕訳を行っています。

事務所の準備をした後、その日の支援件数や相談内容について共有するミーティングを行います。そこから20~30世帯への食料のパッケージを行います。電話での依頼や相談もあるので、電話相談も行っています。



お昼休み



16:00

今日1日の支援の内容や見てきたこと、継続支援の方向性についてみんなの間で共有を行います。また、相談の背景にある社会問題・貧困問題についての理解を深めていきます。

午後は寄付の受付や食料の仕分け作業を行っています。個人や企業からの寄付、仙台市の各地に設置してあるフードドライブの受付などがあります。

活動終了



片付け・掃除をして1日終了!

フードバンク仙台は月・木・金(祝日は休み)の10時~16時、土日に農地運営の活動をしています。16時以降も、留学生への食料支援や、生活相談の活動を行うこともあります。参加するボランティアは延べ約100人にもなります。たくさんの方のご協力のもと活動が成り立っています。活動にご関心がある方は、ぜひ参加してみませんか?食料のパッケージ作り、配達、農作業など、活躍できる場面は多数あります!

ボランティア
常時募集中!
詳細はこちら↓



ボランティアの声

今年の春からボランティアに参加している大学1年生のIさんに活動に取り組んでみて感じたことについて聞きました！

私は大学入学後にフードバンク仙台的活動を知り、話を聞くだけならばと思ってフードバンク仙台主催の講演会に参加しました。実際に話を聞いていく中で、実は自分の身の回りにその日の食料に困るような生活をしている人が多くいらっしゃるって、しかもそのような方が年々増えていることに驚きました。また食糧支援は年齢を問わず、自分と同じくらいの年齢の方も利用されていて、格差は若い頃からある根深い問題だということが分かりました。

このような社会の問題について、高校時代に公民の授業などで扱ったこともありなんとなく問題の認識をしていました。しかし現場で問題に直面してみると、問題を認知して社会に訴えかけて解決策を模索するだけでは足りないのでは思いました。もちろんいずれも問題解決に必要なステップです。しかし今日の生活に苦しんでいる人がいる。この喫緊の問題についてできる限りのサポートができるフードバンク仙台は必要な組織だと思い、活動に参加をしています。

Aさんとは食糧支援をきっかけに、Aさんが利用できる制度を提案した結果、生活保護の申請にたどり着きました。申請後にAさんから「フードバンク仙台から申請を提案されていなければ、申請しなかったかもしれない」と伺いました。利用できる制度を控えている方は他にもいらっしゃるかもしれません。とりあえず一回相談してみる、そんな支援の輪が広がっていくといいなと思います。

フードボックス設置にご協力いただきありがとうございました！

多くの企業や団体さまに、フードボックス設置のご協力をいただいております。いつも活動へのご協力、本当にありがとうございます！
常設だけでなく、イベント時の設置や期間限定の設置もありますので、寄付される方はご確認ください。



店頭や社内、施設等で食品の寄付を受け付ける「食品回収箱（フードボックス）」を設置して下さる所を募集しています。食のセーフティーネットと食品ロスの削減に向けて、ご協力をお願いします。詳細は以下のQRコードをご覧ください。お問い合わせください。また、フードボックス回収を行ってくださるボランティアも募集しています！



フードボックス新設常設店舗一覧

- ・ポラーノの椅子 (2024年度以降)
- ・秋保ヴィレッジ アグリエの森
- ・主婦の店 さいち
- ・ヨークベニマル 15店舗
- ・花京院市場セルバ泉店（屋外特設ブース）
- ・みやぎ霊園（管理事務所内）
- ・特別養護老人ホーム アルテイル青葉
- ・八幡高齢者複合施設（ケアハウス青葉ハイツ）
- ・アルテイル宮町・こめっと宮町
- ・花京院市場 イオンタウン塩釜店
- ・花京院市場 JR本塩釜店

※敬称略

団体情報

NPO法人フードバンク仙台

【活動日】毎週月曜・木曜・金曜

10:00～16:00（祝日休み）

※農地作業は、土日を含め不定期に行います。

【所在地】〒980-0022 仙台市青葉区五橋2-6-16
第2ショーケービル101号室（みんなのBASE 内）

【Mail】foodbanksendai@gmail.com

【Tel】

070-8366-3362

（食料支援・相談 申し込み用）

080-7331-6380

（寄付・取材・事務連絡用）

※電話受付は、月木金

（祝日休み）の10時～16時です。

団体ホームページ

